

AGE 人権通信 2月

人権教育・啓発通信：「エース」
 発行：阿南中学校家庭・人権教育部
 (No. 10) 2023年2月28日(火)
 文責：人権教育主事 中岡 和也

今年度も残りわずかとなりました。3年生では一般選抜の出願も終わり、いよいよ受験に向けてラストスパートをかけているところです。また、卒業式も近づいています。阿南中学校で仲間と過ごす日々を大切にしてください。

1・2年生の授業風景を見ると、基礎学力テストや期末テストに向けて熱心に授業へ取り組んでいる姿に感心しました。テストの結果も気になりますが、授業や家庭学習を頑張れた自分自身を褒めてください。もし、まだまだ努力が必要だと感じたら今から頑張ることでもいろんな可能性がどんどん広がります。

どの学年・学級も「仲間との時間を大切に」、
 「先生との時間を大切に」、そして・・・「自分を大切に」。



◇富岡人権ふれあい子ども会閉講式

2月13日(月)に富岡人権ふれあい子ども会閉講式を行いました。5人の3年生が富岡人権ふれあい子ども会を卒業することとなり寂しい気持ちですが、一緒に教科学習や人権学習ができたこと、行事でいっぱい笑顔が見られたことなどいろいろな思い出が心に残っています。人権ふれあい子ども会は、同和問題をはじめあらゆる人権問題を解決していく仲間づくりが目的です。また、学力をしっかりとつけて自分自身の可能性を広げることも目的です。3年生のみなさんには、これから差別をしない、させない、許さない仲間であってほしいです。そして、富岡人権ふれあい子ども会で過ごした日々を忘れないでほしいです。



◇卒業間近の三年生より後輩たちへ

今年度は、3月10日(金)に卒業式が行われます。3年生は、阿南中学校での生活も残りわずかになりました。今回、各学級の代表者より卒業前に後輩へ一言いただきました。また、後輩から3年生へ思いのこもった言葉も掲載します。じっくり読んでみてください。

私は3年間、部活動や勉強にはげみました。特に部活動では、同級生の仲間たちときずなを深め合い、とてもよい思い出となりました。ぜひ、1・2年生のみなさんも部活動や学級、学年などで、よい友達をつくってください。その友達と過ごした日々は、きっとよい思い出になると思います。

(3年 春木 美羽)

この3年間で「目標に向けて何かをする過程が大事だ」ということを感じました。そうすることで部活などで結果が出せなかったとしても悔いが残らず、次の目標に向けて頑張ることができるからです。それは、受験勉強でも感じたことで、試験が終わったときは結果よりもやりきった気持ちが強く達成感がありました。みなさんもそれぞれの目標に向かって過程を大切にしてください。

2年生のみなさんこれから受験に向けてしっかり頑張ってください。しんどいとは思いますが、努力をしていってください。中学校生活最後の1年となるので勉強も頑張りつつ、友達と最高の思い出をつくってください。しんどい時は一人で悩まず相談してください。

(3年 近藤 桜介)

今までありがとうございました。みなさんのおかげで学校生活をより楽しく過ごすことができました。これから進級してこれまでより辛いことなどが増えると思いますが、みなさんならきっと大丈夫だと思うので、進級後の学校生活を楽しんでください。

(3年 鎌田 彦太)

1・2年生のみなさん。僕はみなさんに伝えたいことが1つあります。それは、今、自分がやっていることを信じて努力を続けてください。今は苦しいことでも、努力を続けることで、今後の進路選択や自分への自信につながると思うので、一人一人が高め合いながらこれからも楽しい学校生活を送ってください。

(3年 橋本 翔汰)



◇三年生へ思いを込めて後輩から送る言葉

3年生のみなさん、2年間本当にお世話になりました。先輩方が私たちのことを入学した頃からサポートしてくださったり、優しく接してくれたりしたおかげで安心して生活することができました。これからは、大変なこともたくさんあると思いますが、頑張ってください。応援しています。

(2年 吉谷 思唯)

今までお世話になりました。この2年間、先輩の後ろ姿を見て歩んできました。これからは、3年生の先輩方を受け継ぎ、後輩のお手本となるように頑張ります。先輩方も進路に向けて頑張ってください。

(2年 君島 美有)

今まで本当にありがとうございました。先輩たちから学んだことはたくさんあり、尊敬しかありません。今後の阿南中学校は、1・2年生に任せて、先輩たちは次のステップに安心して進んでくれたらと思います。お世話になりました。

(2年 高橋 悠吏)

3年生のみなさん、今までこの阿南中学校を引っ張っていただきありがとうございました。受験生で、受験勉強や大変なことがあったと思います。しかし、いろいろな場面で活躍していたことが印象に残っています。もうすぐ卒業ですね。中学校生活はどうでしたか？楽しかったですか？今後はばらばらになるかもしれませんが、楽しい生活を送ってほしいです。

(1年 吉田 葉月)

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。先輩方と過ごして1年間とても楽しくあっという間でした。委員会活動でのリーダーシップ、部活動に真剣に取り組む姿勢、とてもかっこ良かったです。今までありがとうございました。これからも先輩方の活躍を応援しています。

3年生のみなさん
ありがとうございました。



◇阿南中学校区内3小学校出前授業

2月6日・7日・16日に阿南中校区内3小学校に出前授業を行いました。小・中学校の連携をはかることで児童・生徒一人一人の成長や理解に努め、教職員が一体となって児童・生徒の幸せを願い、サポートするために行っています。また、小学校から中学校へ入学する際の不安を少しでも取り除き、4月からよいスタートが切れるようにしていくことを目的としています。

今回、阿南中学校での人権教育や年間行事について児童に説明しました。そして、阿南中学校2年生の代表者が動画を作成し、部活動紹介や各学年の生徒にインタビューした内容も小学校で披露しました。3小学校の児童は、とても素直で積極的に意見を述べてくれました。4月から一緒に頑張れることを楽しみにしています。また、一緒に準備をしてくれた2年生の代表者のみなさん「ありがとう」。とっても助かりました。



◇「ヤングケアラー」知っていますか？

「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている18歳未満の子どものことです。子どもが家事や家族の世話をするのは、本来素晴らしいことです。しかし、ヤングケアラーは、本当ならできたはずの勉強に励む時間、部活動に打ち込む時間、将来について思いを巡らせる時間、友人と過ごす他愛もない時間など「子どもとしての時間」と引き換えに、家事や家族の世話をしていることが問題となっています。

この現状に、まわりの人が気づき、声をかけ、ヤングケアラーが「自分は一人じゃない」「誰かに頼ってもいいんだ」と思える環境をみんなでつくっていきましょう。また、ヤングケアラーだけに限ったことなくすべての人権問題で大切なことはまわりの支えです。しんどい思いや悲しい気持ちに寄り添い、問題を解決できる行動をとれるようにしていきましょう。

ヤングケアラーとは



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼い子どもに世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいに世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・認知・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

(厚生労働省 HP より)

※ヤングケアラーについて徳島県教育委員会HPにも掲載してくれているので、ご覧ください。詳細は、QRコードを読み取りご確認ください。



第56回 阿南中学校卒業証書授与式 御案内

3月10日(金) 9:55より、第56回阿南中学校卒業証書授与式を挙行政します。保護者入場は、9:00からとなっております。9:30より思い出のアルバムを上映する予定となっております。阿南中学校を巣立つ161名の卒業生が最後の時間を気持ちよく過ごせるように教職員・在校生共に準備をさせていただきます。今年度も卒業証書授与式がすべての人の心に残りますように。